

街かど gallery



大竹 正二



古希を迎え油絵に没頭しています。絵画をはじめたのは8年前、定年退職後までもなくです。退職後、ほっとしていた時、家内から「何もせんでぼー」としてたらぼくもよ。絵を描いたら」と言われ仕方なくはじめたのが現在に至っています。描き始めて一週間後に絵の

教室のメンバーと久住にスケッチ旅行に行ったのですが、初めての体験で最初は一人離れて描いた事を思い出します。これがきっかけで山に魅せられあらゆる山に挑戦しています。

特に阿蘇の根子岳には力強さと雄大さに魅せられ何回も行き何枚も描いています。

春、夏、秋、冬、朝、昼、夕の変化に、力強さの中に、その美しさ、やさしさがあり魅了されています。

多分これからも、山を海を描き続けることでしょう。

今月の山柳



さわやかな秋晴れの午後、秋の蝶が、庭の花に一礼するかのように一舞い舞って秋空の彼方へ飛び去った。

秋の蝶には命の行方の寂しさを感じる。

八女川柳会 安達 昇

八女農業高等学校

8月28日(土)、本校北山農場で小学生を対象に農業体験実習を行いました。八女市役所立花支所の「夢たちばな自然体験塾」の一環で、今回で5回目となります。62名参加。

一・二年生はポニーの乗馬とバター作り、三・四年生は乳牛の搾乳体験と鶏の卵を教材にした命の観察、五・六年生はブドウの収穫体験と農業機械の操作体験などを行いました。実際に触れあったりすることで農業の大切役割を学ぶことができ、本校生徒との交流も深めることができました。



10月の校内販売所

八女の宝物

国道442号を黒木大藤から約4km東へ走ると左の山手に導水管が見えます。上流の松瀬ダムから水路(隧道)を流れてきた水を木屋発電所に落とすためのものです。矢部村にある日向神ダムは治水、利水(農業・発電)の多目的ダムとして昭和



35年竣工しました。日向神ダムの水は年間貯水水位計画によって管理されています。日向神ダムに貯水した水は大淵発電所で一秒間に最大12トン放水します。発電に使った水は松瀬ダムに貯水し、木屋発電所で発電するため一秒間に最大7・5トン放水します。発電後は矢部川に還流します。大淵発電所は福岡県では一番大きな水力発電所です。両発電所の最大出力は13、500kw、八女市東部4、500世帯の電力を賄います。

電力の消費は季節によっても又一日の中でも昼と夜では大きな差があります。水力発電は水車を回せば発電できるので、原子力や火力発電に比べて非常に早く発電できます。そしてCO2排出も少ないクリーンエネルギーです。エネルギー源の

ほとんどを輸入に頼る日本は国内の豊かな水資源を利用する貴重な純国産エネルギーです。怖いのは台風等の強風によって電柱や送電線が被害を受けて送電できなくなることです。発電しても変電所へ送れません。そんな時も変電所のある木屋、大淵地区は送電できますからこの地区は比較的停電が少ないメリットがあります。

いつも気象情報に注意し、日向神ダムへの水の流入量、放流量を管理しています。

当発電所の上流は矢部川の清流と豊かな渓谷美に恵まれた所です。秋の一日、野山の散策を兼ねて見学に出かけてみませんか。

福岡県企業局矢部川発電事務所 黒木町北木屋
TEL 45-1111

眩き エンディングノート

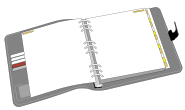
一人暮らしをしている叔母が、久しぶりに明るい声で電話してきた。「エンディングノートを買って、少しずつ書き込み始めたよ」と。数年前から流行りだした『エンディングノート』。いつかは訪れる人生最期の日のために、大切な家族や友人に自身の思いを伝えるためのノートである。本屋を覗けば、美しいデザインの表紙に内容は「私」

自身のプロフィール欄、伝えておきたい財産、万一の時の準備等、様々な形式のノートが何冊も並んでいる。私は叔母の凛とした覚悟を垣間見たようで、胸が苦しくなった。

実は、恩師からもエンディングノートを完成させて、弔辞を頼みたい人の欄に、私の名前を記した旨を告げられていた。エンディングノートは、私の身近な人達の間にもすっかりと浸透している。この夏、私は五十歳になった。「五十にして天命

を知る」として「知名」とも呼ばれる五十歳。人生の折返し地点を過ぎて、私は今、しみじみと私の命を噛みしめている。

自身の最期の時を考えることは、即ち最期まで自分らしく、どう生きるかを考えること。「ありがとう」の優しさを、遺された大切な人達に伝えることができれば幸せだ。蓉子



岩ノ下虚空蔵尊奉納相撲大会

9月13日(月)に黒木町下本分で岩ノ下虚空蔵尊奉納相撲大会が開催されました。0歳~12歳の子ども達が元気に奉納相撲をしました。数十発の花火が打ち上げられ終わりの合図となりました。お世話をしてくださいました下本分の皆様にはお礼申し上げます。



おいしい里の秋! 見つけた



残暑が厳しかった気候もススキの穂がとけて秋の気を感じています。天高く食欲の秋の到来。奥八女、山の緑に包まれたレストラン『ル・クレソン』清らかな山の源水と地元の食材をふんだんに使った創作和風料理。日本酒、ビール、ワインとの相性もばっちり。秋の夜長を澄みきった虫の声とおいしいお料理でのひとときを――。

お問い合わせ先 秘境の里溪流公園
0943-47-3000

ご予約・(一週間前まで) にお願ひします

お誘いあつてのお出かけをお待ちしています。
◎写真の料理は3、150円のコース。8品+珈琲又は紅茶。
◎ご予算により相談に応じます